

## LPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ

11月23日(木)→11月26日(日) 宮崎カントリークラブ (宮崎県)

海辺の天然の松林と自然美の起伏を巧みに利用した  
戦略性に富んだ魅力あふれる、  
高麗芝ワングリンの雪を知らないシーサイドコース



申ジエ  
1988年韓国生まれ。  
韓国・米國にて賞金  
女王獲得。  
現在日本女子ツアー  
賞金女王を目指し  
活躍中。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Yards	362	559	412	358	165	360	397	185	490	3,288	6,448
Par	4	5	4	4	3	4	4	3	5	36	72
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Yards	341	500	140	495	383	413	171	317	400	3,160	
Par	4	5	3	5	4	4	3	4	4	36	

**<初日>**一昨年は優勝、昨年は3位と抜群の相性を誇るツアー最終戦。大会前までの賞金ランキング順にツアーサムのペアリングとなる初日は、ランク3位のイミニョンとともに最終組の一組前でスタートした。「ラウンド前半は、先週優勝もしたし、これが今年最後の試合というもあるし、頑張らなきゃと体にかがっていたと思います」と、3番でバーディーを先行したものの、続く4番でボギーを献上し、パープレーでハーフターン。「この寒さと風の具合で今日はイーブンぐらいかなと思ったけど、リーダーボードを見たらみんなのスコアがよかった。もうちょっと頑張らなきゃと思って…。カミも抜けて、後半は自分に戻ってゴルフができたと思います」。

10番でバーディーを奪い、その後ノーボギーで17番でもバーディー奪取。2アンダー70、首位テレサ・ルーに2打差の4位タイでホールアウトした。「大好きな宮崎CC。一年ぶりに、ホントに楽しかったです。笑顔でプレーすることができました。今日はボギーが1つ。明日もノーボギーか1ボギーの、ミスの少ないゴルフをしたいです。メジャー大会ですから、一つでも気を抜いたら落とし穴につかまると考えてます。気を抜くことなく、集中してやり切りたい」と話した。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	○	△	—	—	—	—	—	±0	70
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	○	—	—	—	—	—	—	○	—	-2	(-2)

**<二日目>**しかし、キム ハヌルと回った2日目は、少々苦しい展開に。2番パー5で3パットボギーを出すと、風速5メートルの風の中、13番までスコアカード通りのパープレー。14番でもボギーを叩き、通算スコアもイーブンパーに戻った。15番ではさらにドライバーショットで「私にしては珍しい左への大きなミス」が出て林につかまったが、前方の木がスタイミーになる状況から「ピンまで180ヤード。木の上を見上げたら首と腰が痛くなるぐらいの景色でしたが、5番ウッドでハイボールを打ちました」と、なんと手前5メートルにつけてバーディー奪取。「いいバーディーが獲れて、それをきっかけによくなりました」。16番パー3でもいいバーディーパットを沈め、317ヤードと距離の短い17番パー4では残り60ヤードの第2打をピン右3メートルにつけて3連続バーディーを決めた。もっとも本人が一番喜んだのは最終18番パー4のパーセーブで「セカンドショットをグリーン手前にショート。20ヤードほどのアプローチだったんですが、驚いたことにピン手前2メートルの地点から風と傾斜で戻ってしまって、5メートル。このパーパットを入れることができ、本当によかった。この一打は大きいです」。終盤4ホールの好プレーに笑顔で「うれしい。5打差あるけど、5位から残り2日間。いいポジションだと思います。明日はムービングデーですから、もっと頑張ります」と語った。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	△	—	—	—	—	—	—	—	+1	71
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	—	—	—	△	○	○	○	—	-2	(-1)

**<三日目>**予告通りのアグレッシブなゴルフを見せた、ムービングデー。前日ボギーの2番パー5で、残り100ヤードの第3打をピン左3メートル弱につけてバーディーを先行すると、6番パー4でも4メートル半を沈めガッツポーズ。9番パー5では第2打を手前15ヤード地点まで運び、アプローチを30センチに。ハーフを3アンダー33で折り返した。12番パー3でもピン左から3.5メートルを沈め、13番パー5ではグリーン手前花道からの30ヤードを50度ウェッジであわやカップインかと思わせるアプローチ。連続バーディーを追加した。「ここは普段よりランを使ったアプローチを多く使います。高麗グリーンで芝目が強いので、それを利用してできるクラブ選択を考えています」。14番で唯一のボギーを出したが、5バーディー、1ボギーの68で通算7アンダー3位タイに浮上した。「テレサ選手とミニョン選手がいいプレーをしているけれど、明日は雨予報だし、このコースは難しいので、6打差だったら(優勝の)チャンスはあると思っています。グリーンが少し軟らかくなると思うので、もっと攻撃的なゴルフでギャラリーのみなさんを楽しませたい。今年最後の一日なので笑顔で回りたい。一生懸命、オーバーアクションでいきますよ」。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	○	—	—	—	○	—	—	○	-3	68
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	—	○	○	△	—	—	—	—	-1	(-4)

**<四日目>**大逆転Vを狙った最終日は、前半8番までパープレーの我慢を強いられた。9番パー5でバーディーを決め、反撃開始！と思った直後の10番でボギー。「ずっと惜しいパットが多くて、なんで入らないのかなと考えながら回ってました。で、雨の中でストロークのリズムが速くなっている気がした。それに注意するようにしたら…14番からいつものリズムが出てきました。15番で3メートルのバーディーパットが沈むと、16番パー3で4.5メートルを。17番パー4では残り85ヤードの第2打を50度ウェッジでピンそば30センチに止めて、3連続バーディーを決めた。通算スコアは2桁、10アンダーに。優勝には5打届かなかったが、単独3位で今季最終戦を締めた。この日のパット数は前半13、後半12。賞金ランキングこそ5位に終わったが、平均ストローク、平均パット数、パーセーブ率、リカバリー率、平均バーディー数と部門別ランキングの半数を制する実力を証明して2017シーズンが幕を閉じた。「今年は前半体調が悪くて残念だったけど、後半はこんなにいいプレーができて、みなさんに感謝の気持ちです。体を悪くしたことで、周りに自分を心配、応援してくださる人がたくさんいることを実感した。感激でした。私はプロですから、体調管理もプロじゃないといけない。こんなに多くの方が支えてくださっているのだから余計そう思います。そういうことに気づくための一年だったのかなとも思っています。来年こそ、私の夢、日本ツアーの賞金女王になれるよう、このオフも努力して、頑張ります！本当にありがとうございました」。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	—	—	—	—	—	—	○	-1	69
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	△	—	—	—	—	○	○	○	—	-2	(-3)

### Full Leader Board

RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total	RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total
1	テレサ・ルー	-15	68	68	67	70	273	6	キム ハヌル	-6	70	73	71	68	282
2	イ ミニョン	-11	71	67	67	72	277	7T	鈴木 愛	-5	71	73	70	69	283
3	申 ジエ	-10	70	71	68	69	278	7T	上田 桃子	-5	73	70	69	71	283
4	李 知姫	-9	73	70	69	67	279	9T	イ ボミ	-4	73	73	70	68	284
5	アン ソンジュ	-7	73	72	67	69	281	9T	笠 りつ子	-4	69	71	73	71	284